

# 生活再建 ダムなしで

ダム建設に揺れる八ツ場(群馬県長野原町)のこれからを考える緊急集会在13日に高崎市内で開かれます。水没予定地の住民の願いや現状について「八ツ場あしたの会」の渡辺洋子事務局長に聞きました。(群馬県・大沢綾子)

## 見通しがたたず

現地ではこれまで、ダム事業の遅れとともに生活再建事業も遅れてきたことで、ダムを契機に生活再建・地域

振興をめざしてきた人で、てしまい、地域全体がでも国土交通省や県に対する不満がかなりありました。それを外に向かつて発信できなかったのは、事業の問題点が明らかになり世論の批判を浴びることで、自分たちの生活再建も滞ってしまうのではとの思いが強かったからです。ダム事業をすすめても地域振興や生活再建の見通しがたたず、長引くことによつて犠牲がどんどん積み重なっています。全水没予定地世帯の4分の3が出て行つ

## 渡辺洋子さんに聞く

### 群馬・八ツ場あしたの会

さびれ、共同体を維持することさえ困難になっていきます。

### 政治の取り組み

ダム建設中止に反発する地元の声がクローズアップされ、あたかも前原国交相、民主党と地元住民が対立しているような構図になっていきますが、本当は大臣と話し合いたいという住民もいます。全く先が見えない状態で地元住民は精神的な苦痛が募る中、今のような

膠着(こうちやく)状態は、地元にとつても国民にとつても非常に悪い状態です。

ダムをただ止めれば生活再建ができるわけではありません。そのためには政治の強力な取り組みが必要で、政権自身が国交省にある様々な資料を精査して実態を把握するとともに、情報公開をすすめて地元住民や国民の理解を得ることが求められています。ダム事業の中止に先行して早急に取り組むべきです。

流域の議会が建設推進決議をあげる中、上流、中流域からダム建設に疑問を感じる議員も出ていますが、推進派の巻き返しは予断を許しません。

## 住民や国民の理解早急に

多くの国民にダム計画やダムありの生活再建が矛盾だらけだと知らせて世論を高め、国や都県がダムなしの生活再建にきちんと取り組みよう働きかけを強める必要があります。

多くの人に集会に参加していただき、今求められている生活再建策とは何か、下流域の私たちは何ができるのかを一緒に考え、八ツ場ダム問題の最終的な解決をめざしたい。

### 高崎で13日緊急集会

緊急集会「八ツ場のこれからを考えるダムなし生活再建への

道」(八ツ場あしたの会、八ツ場ダムを考える1都5県議会議員の会主催)は13日午後1時半から高崎シティギヤラリーコアホールで。